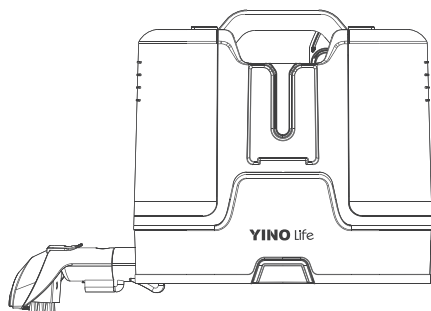


# カーペットクリーナー

室内・家庭用



## もくじ

### ご使用の前に

- 安全上の注意 ..... 1-2
- 使用上の注意 ..... 3
- 各部の名称 ..... 4

### 取り扱いかた

- 取り付け ..... 5
- 準備 ..... 5
- 使いかた ..... 6-8
- お手入れ ..... 9

### こんなときには

- 故障かな?と思ったら ..... 10
- 仕様 ..... 11
- 保証とアフタサービス ..... 12
- 保証書 ..... 13

## 保証書付

このたびは、お買い上げいただき誠にありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- 使用する前に「安全上の注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。



# 安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよくお読みいただき、正しく使用してください。  
人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

## 図記号の意味



注意を促す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。



### 警告

誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

## 電源プラグ・電源コードは正しく使う



●電源プラグのほこりは定期的に取り  
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。

●電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む  
ショートによる火災・感電の原因になります。



●お手入れや点検・移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く  
感電やけがの原因になります。



ぬれ手禁止

●ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない  
感電・やけど・けがの原因になります。



●乳幼児に電源プラグをなめさせない  
けがや感電の原因になります。

●電源コードをたばねて通電しない  
過熱してやけどや火災の原因になります。



●電源コードを傷つけない  
●持ち運び時に電源コードを引っ張らない

傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものを載せる、挟み込むなどしないでください。

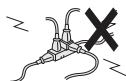
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

●電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるかったりするときは使わない

ショートによる火災・感電の原因になります。

●コンセントや延長コードなどの定格を超える使い方をしない

火災の原因になります。



●交流100V以外では使わない

火災・感電の原因になります。



- スプレーをかけたりしない(殺虫剤・整髪料・潤滑油など)
  - 引火性のもの(灯油・ガソリン・シンナーなど)、可燃性のものを吸わせない
  - 油煙や湯気を吸わせない
  - 可燃性のものや火のついたたばこ・線香などを近づけない
- 吸い込むと火災の原因になります。



- 異常・故障時には、直ちに使用を中止し、電源スイッチをオフにして、電源プラグをコンセントから抜く
- 発煙・火災・感電の恐れがあります。



- 分解・修理・改造をしない
- 火災・感電・けがの原因になります。



- 雨の中や水回り、風呂場などぬれるおそれのある場所では絶対に使用しない
  - 本体を水につけたり、水をかけたりしない
- 火災・感電の原因になります。



- 感染症の疑いがある汚れやほこり、吐しゃものなどを吸引しない
- 感染症の原因になります。



- 回収タンクを取り付けずに運転しない
- けがの原因になります。



## 注意

誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負ったり、物的損害が発生する可能性が想定される内容を示しています。



- 掃除以外の用途に使用しない
- 異常動作・火災の原因になります。
- 業務など家庭用以外の用途に使用しない
- 本製品は家庭用として設計されています。



- 乗ったり、寄りかかったりしない
  - 幼児の手の届く範囲では使用しない
  - 子どもに遊ばせない
- けがの原因になります。



- 火気・暖房器具などに近づけない
- 吹き出す風で暖房器具の炎が大きくなり火災などの原因になります。



- 吸込口がふさがれたまま運転を続けけない
- 故障の原因になります。



- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
- 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 使用後は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
- 火災・感電の原因になります。



- ノズルに異物が詰まったらすぐに運転を中止する
  - 異物を吸引したときは、運転を中止する
  - 凍結の恐れがある時は、回収タンク内、清水タンク内、バキュームホース内、ハンドツール内の水を捨てる
- 故障の原因になります。

## 使用上の注意

- 本製品はすすぎ洗いにより汚れを除去する商品です。清水タンクには60°C以下の水道水またはアルカリイオン水以外を投入しないでください。  
(60°Cの水は生地を傷めるおそれがある為、お手入れには40°Cの水がおすすめです。)
- 美術工芸品、水に弱い繊維(絹、アセテート、レーヨン、キュプラなど)、水に弱い製品(毛皮、皮革製品、和装品、白木の家具、ニス塗りの木製品、漆器など)、傷つきやすい面(フローリング、テーブルなど)には使用できません。
- 水を入れた状態で本体を傾けたり、水位線を超える場合は、直ちに運転を停止し、汚水をこまめに捨ててください。故障の原因になります。
- 洗剤を使用する場合は、発泡性の低い使用可能な洗剤を20倍程度希釈し、洗浄対象に塗布してご使用ください。  
(洗剤ごとに濃度が異なるため、洗剤に記載される割合で希釈してください。低発泡、非腐食性の購入をお勧めします。)
- 洗剤を使用する場合は、事前に洗浄物に影響のないことを確認した上でご使用ください。
- 本体を毛足の長いじゅうたんなどにおくと、排気口を塞ぎ、機械が停止する恐れがあります。

- 次のようなものは吸わせないでください。
  - ・多量のごみ
  - ・針やピンなどの鋭利な金属ガラスなど
  - ・大きなごみ
  - ・ビニール袋やストッキングなど内部に詰まりやすいもの
  - ・多量の砂、小石など
  - ・多量の粉(消火器の消火剤など)

### 機械の故障を防ぐために

- 寒冷地では、作業終了後は必ず回収タンク内、清水タンク内、バキュームホース内、ブラシヘッド内の残水を排出し、凍結しない場所に保管してください。凍結により損傷することがあります。
- 吸引中、ホース内に回収物が詰まった場合は、直ちに電源スイッチをオフにして詰まりを解消させてください。故障の原因になります。

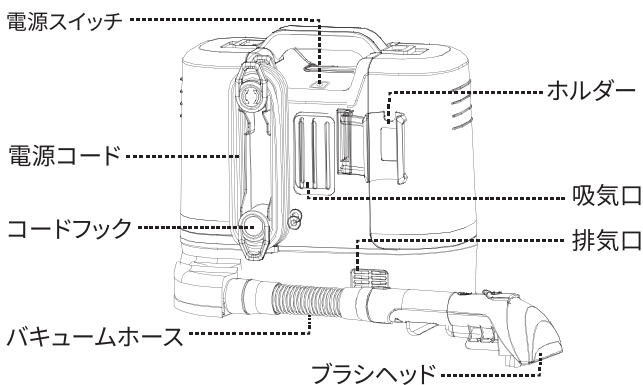
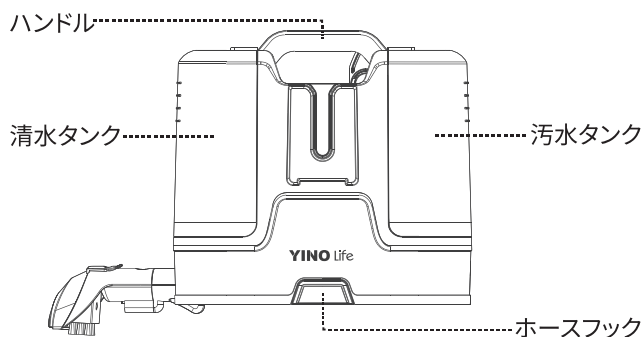
### 保護装置について

汚水タンクが満水になったり、排気口を塞いだ状態で使用し続けるとモーターの過熱防止のため保護装置が動き、電源を入れても一時的に電源が入らなくなります。

- 処置
  - ・汚水を捨てる
  - ・電源スイッチをオフしたあと、電源プラグをコンセントから抜く。





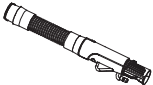

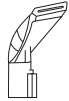

# 各部の名称

## ■ 本体



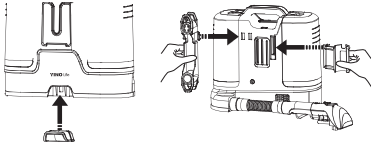
※持ち運ぶ際はホルダーにブラシヘッドを、ホースフックにバキュームホースを固定し、電源コードをコードフックに巻き付けてください。

## ■ 包装明細

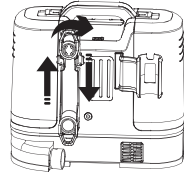
 本体	 コードフック	 自動洗浄用カバー	 ブラシヘッド
 バキュームホース	 隙間ノズル	 ガラスブラシ	 ソファブラシ

## 取り付け

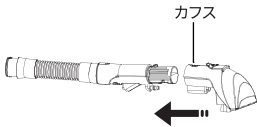
- 1.** 本体にはホルダー、ホースフック、コードフックを取り付ける



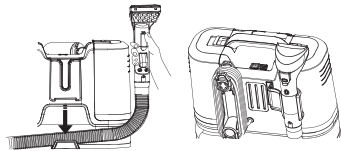
- 2.** 電源コードをコードフックに巻き付ける



- 3.** ブラシヘッドを接続する  
・本体と接続したバキュームホースにブラシヘッドを差し込み、カフスに合わせてロックしてください。

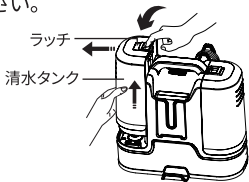


- 4.** 持ち運ぶ際は、ホルダー・ホースフックに固定する  
・ホルダーにブラシヘッド、ホースフックにバキュームホースを固定してください。

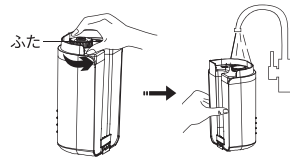


## 準備

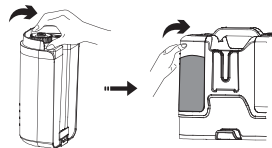
- 1.** 清水タンクを取り外す  
・ラッチを押し、清水タンクを上に取り外してください。



- 2.** ふたを回して外した後、水道水を入れる  
・容量は1.8Lです。



- 3.** ふたを締め、清水タンクを取り付ける  
・ふたをしっかり締めてください。  
・清水タンクを取り付けてください。



● 清水タンクのふたは確実に締めてください。

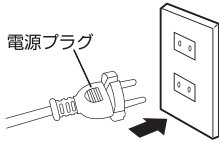
● 清水タンクに水道水またはアルカリイオン水以外入れないでください。故障の原因になります。

**注意** ● 清水タンクの水は使用後に捨ててください。水が入ったまま保管すると、水漏れやかびの原因となります。

# 使いかた

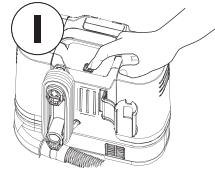
## 1. 電源プラグを差し込む

- 電源プラグをコンセントに差し込んでください。



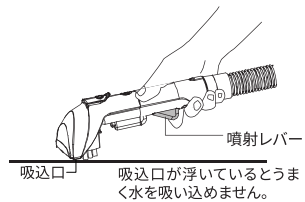
## 2. 電源を入れる (運転開始)

- 電源ボタンを押し、電源を入れてください。



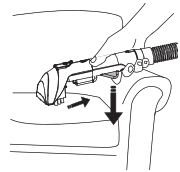
## 3. 噴射レバーを引き、清水を散布しながら水分を吸い取る

- 吸込口を汚れに軽く押し付けながらブラシヘッドを手前に引いてください。
- 噴射レバーを放した直後は、しずくが垂れることがあります。
- 同じ場所に連続して散布せず、水散布後はすみやかに水分を吸い取ってください。生地のおもむきで水が染み込むと水分が残り、かびやにおいの原因となります。



## 4. 清水を出せずに残った水分をよく吸い取る

- 吸込口が水平になるように汚れに押し付けながらゆっくり手前に引き、よく水分を吸い取ってください。汚水タンク内に汚れた水がたまります。

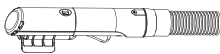


注意

- 水分が多く残っていると、かびやにおいの原因となります。
- 水分が残りやすい生地に使用した後は、扇風機などで風をしばらく当て、よく乾燥させてください。
- 使用中に洗剤をかけすぎないようにご注意ください。

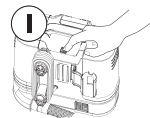
## 5. 自動洗浄機能

- 自動洗浄カバーを取り付け、噴射レバーを引きバキュームホースがキレイになります。



## 6. 電源を切る (運転停止)

- 電源ボタンを押し、電源を切ります。



## 7. 電源プラグを抜く

- 使用後は電源プラグをコンセントから抜いてください。



注意

- 電気プラグを抜く前に、必ず電源ボタンをオフにしてください。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜いてください。
- 使用後は、電源プラグを差し込んだまま放置せず、必ずコンセントから抜いてください。



## ■ 汚れのひどいときは

落ちにくい汚れや、染みついた汚れは、洗剤などで汚れを浮かせてから洗浄すると効果的です。

● 清水タンクに洗剤を入れしないでください。

● 洗剤を使用するときは、端の部分などで試してから、変色などの問題がないことを確認した上でご使用ください。



**注意**

● シンナー、ベンジン、塩素系漂白剤や引火性のある溶質、溶媒は絶対に使用しないでください。

変色や故障、火災の原因になります。

### おすすめ

- ・ 強アルカリイオン水
  - ・ 重曹
  - ・ クエン酸
  - ・ 次亜塩素酸水
- 発泡性の低い洗剤などです。

### 適さない

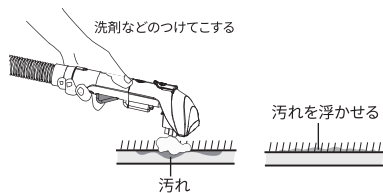
- ・ 台所用中性洗剤
  - ・ 強アルカリ性洗剤
  - ・ 強酸性洗剤など
- 発泡性の高い洗剤などは、クリーナー内部に泡が侵入するおそれがあります。

## 1. 汚れに洗剤をつけ、ブラシヘッドの洗浄ブラシなどで、こすって汚れを浮かせる



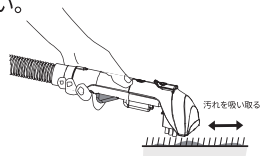
**注意**

● 洗剤の分量や用法については、使用方法、注意事項をよくお読みの上、正しくご使用ください。



## 2. 汚れを吸い取る

・ 準備 (→P5) に従って水道水を清水タンクに入れ、使いかた (→P6) に従って汚れを吸い取ってください。

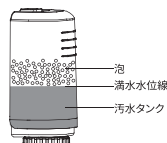


・ 洗剤などが残らないように、しっかり吸い取ってください。



**注意**

● 汚水タンク内の泡立ちが多く満水水位線を超える場合は、運転を停止してください。本体内部に水滴が入る恐れがあります。

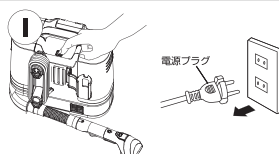


# 使いかた つづき

## ■ 汚水タンクの汚水を捨てる

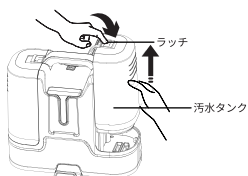
### 1. 電源を切り、電源プラグを抜く

- ・汚水タンクの汚水が満水水位線まできた場合は、作業を中断し電源ボタンを押し、電源を切ってください。
- ・電源プラグをコンセントから抜いてください。



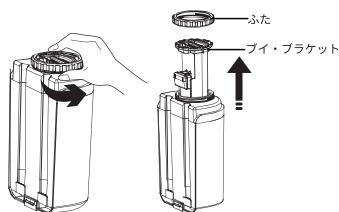
### 2. 汚水タンクを取り出す

- ・ラッチを押し、汚水タンクを上に取り外してください。



### 3. ふたを外す

- ・ふたを回し、ふたとブイ・ブラケットを外してください。

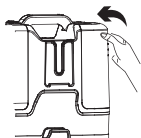


### 4. 汚水タンク内の汚水を捨てる



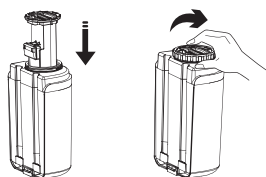
### 6. 汚水タンクを取り付ける

- ・汚水タンクを取り付けてください。



### 5. ブイ・ブラケットとふたを取り付ける

- ・ふたとブイ・ブラケットを汚水タンクに取り付けてください。
- ・ふたをしっかり締めてください。



### 7. ブラシの切り替えかた

- ・カフスボタンを押しながらブラシヘッドを外す。
- ・切り替えたいブラシとバキュームホースにブラシヘッドを差し込み、カフスに合わせてロックしてください。



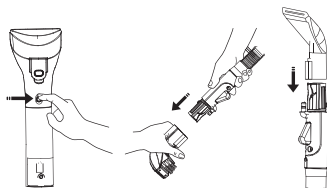
隙間ノズル



ガラスブラシ



ソファブラシ



# お手入れ



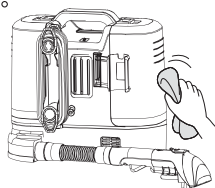
## 注意

- お手入れは、必ず運転を停止し、電源プラグを抜いて行ってください。
- 本体に水をかけないでください。感電・けが・故障の原因になります。

- 洗剤、シンナー、ベンジン、漂白剤などは使用しないでください。
- 化学雑巾は使用しないでください。

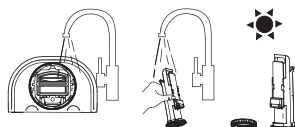
## ■ 本体 汚れたとき

- ・水またはぬるま湯(40℃以下)を含ませた柔らかい布をよくしぼって、汚れを拭き取ります。
- ・汚れが取れにくいときは、薄めた台所用洗剤を含ませた柔らかい布で拭いた後、洗剤が残らないように、かたくしぼった布などで水拭きしてください。



## ■ 汚水タンク

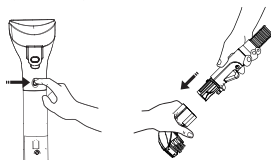
- ・使いかたつづき(→8)に従って汚水タンクを取り出し、ふたとブイ・ブラケットを外してください。
- ・汚水タンクの開口から水道水などですすいでください。
- ・ブイ・ブラケットを水道水などですすいでください。
- ・完全に乾いてから、再度組み立ててください。



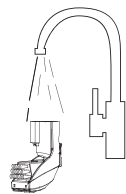
- 汚水タンクやバキュームホース内部に溜まった汚泥を放置すると、微生物や菌が発生・繁殖し、においの原因となる恐れがあります。

## ■ ブラシヘッド

1. カフスボタンを押しながらブラシヘッドを外してください。



2. ブラシヘッドを水道水などですすいでください。

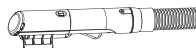


3. ブラシヘッドを完全に乾いてから、再度組み立ててください。



## ■ バキュームホース

- ・自動洗浄カバーを取り付け、噴射レバーを引きバキュームホースがキレイになります。



## ■ 保管について

- ・本体を保管する際は汚水タンクの水を必ず抜いてください。
- ・氷点下になるような場所に保管しないでください。
- ・乾燥した場所に保管してください。

## 故障かな?と思ったら

状態	考えられる理由	処置
電源が入らない (動作しない)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コンセントに電源プラグが正しく接続されていない。</li> <li>●本体内部または電源コードが断線している。</li> <li>●モーターが過熱して、保護装置が働いた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電源スイッチをオフにして、電源プラグをコンセントに差し込み直してください。</li> <li>●お買い上げの販売店へご連絡ください。</li> <li>●「保護装置について」の説明に従って処置してください。(→P3)</li> </ul>
吸引しない、もしくは吸引が弱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電源スイッチがオフになっている</li> <li>●汚水タンクが正しく取り付けられていない</li> <li>●汚水タンクを満水になった</li> <li>●バキュームホースの異常</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●オンにしてください</li> <li>●汚水タンクを正しく取り付けてください。</li> <li>●汚水タンクの汚水を捨ててください。</li> <li>●バキュームホースに割れ・潰れ・折れ・詰まりなどないか点検してください。</li> </ul>
水漏れ・その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ふたが締まっていない</li> <li>●高発泡の洗剤を使用している</li> <li>●ブラシヘッドの中に水残りあり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ふたをしっかりと締めてください。</li> <li>●高発泡の洗剤を使用しないでください。</li> <li>●作業終了後は噴射レバーを押し残った水を排出してください。</li> </ul>



### 警告

それでも解決できない時はお買い上げの販売店へお問い合わせください。

ご自分で分解・修理・改造をしないでください。

## 仕様

電源	AC 100V
定格消費電力	450W
吸引圧(Max)	12kPa
汚水タンク有効容量	0.6L
清水タンク容量	1.8L
ホース長さ	1.2m
お湯使用温度	約60°Cまで
製品寸法(本体寸法)	235x320x333mm(奥行x幅x高さ)
重量	4kg
電源コードの長さ	4.6m
付属品	ブラシヘッド、ホルダー、ホースフック、コードフック、自動洗浄用カバー、隙間ノズル、ガラスブラシ、ソファーブラシ

## 保証とアフタサービス

### 「責任の範囲について」

本製品の故障および不具合によるあらゆる損害等について、保証（補償）の範囲は、お買い物いただいた商品の修理・交換・返品（定めている保証期間内）までとなります。

- ※この製品は海外ではご使用になれません。
- ※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

**ご購入日より1年間保証あります。**

**輸入総発売元:**株式会社Victoria

**メール:**support@yinolife.com

**受付時間:**10:00～13:00,14:30～18:30

本製品を正常な使用、環境のもとで万が一故障した場合、本保証規定に従い修理またはご交換をいたします。保証のご相談はご購入された店舗まで故障内容とご注文番号をお知らせください。

無償保証期間はご購入店舗により異なるますので、ご購入店舗までお尋ねください。本保証は本体のみを対象とし、日本国内で使用された場合のみ有効です。

# 保証書

本保証書は再発行いたしません。大切に保管してください。

## 保証書

品名	カーペットクリーナー
品番	K15 AC
購入日	年 月 日
保証期間	上記ご購入日より1年間（消耗品を除く）
お客様	ご住所 〒
	電話 ( )
	お名前 ----- 様

1. 取扱説明書、注意事項などにしたがって正常な使用状態で故障した場合に限ります。
2. 保証期間内に前項に該当する故障が発生した場合に限ります。
3. 消耗品に関しましては、保証対象外となります。
4. 保証期間内でも次の場合は、有料修理となります。
  - \* 本書のご提示がない場合や、購入日、販売店名の記載がない場合。
  - \* 使用上の誤り、他店・個人での修理、分解、改造、調整による故障等。
  - \* お買い上げ後の移動、落下、天災地変、異常電圧による故障。
5. 保証書の発行により、ご購入者の法律上の権利を制限するものではありません。

### 免責事項

法律上の請求の原因の種類を問わずいかなる場合においても、本製品の使用または、使用不能から生ずる直接損害、間接損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失等）、特別損害、付随的損害、経済的拡大被害（逸失した利益、ビジネス上の収益、信用あるいは節約すべきし費用を含む）、他の機器や部品に対するデータの損失または損害、第三者からの賠償請求に基づく損害、身体障害（身体障害に起因する死亡及び怪我を含む）に関して、弊社は一切の責任を負わないものとさせていただきます。

